

## 大垣市市民の健康広場

2018年10月21日

大垣城ホールで開催された市民の健康広場では医療面・保険・栄養・運動などなどの各方面で詳しい方々がそれぞれのブースでご来場の方々に楽しんでいただきながら、これからの生活がよりよいものとなるよう団結して健康広場を催していました。各部門の方々が団結して開催している姿は非常に良い空気を作り出していたと感じました。

臨床検査の部門では、血管年齢の測定・骨密度の計測・簡易的な認知症検査の3つを実施しましたが、どの検査もほとんど人が途切れることがなく、大変盛況でした。

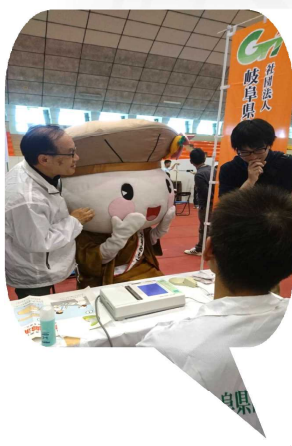
これらの検査はどれも普段私が実施していない検査であったため、とても新鮮で検査する側としてもお客様に説明していく間に様々なことを学ぶことができたため、非常に有意義な時間でした。また、お客様とお話しながら検査結果の説明をしていく雰囲気も、患者様と接する時間がやはり他の部門と比べると少ない臨床検査技師という職業ではなかなか味わえない貴重な時間でした。気づいたらあっという間に終了時刻になってしまい、とても名残惜しく感じました。

次回開催されたときは是非また参加させていただけたらと思います。

参加者は全体で1600名 岐阜県臨床検査技師会のブースでは、午前227名 午後130名 合計357名の方が訪れて頂きました。

催事内容別としまして、骨密度141名 血管年齢231名 認知症検査58名で各催事とも盛況のうちに行了しました。

大垣徳洲会病院 検査科 津田翔太



『おがっさい』も  
検査にやってきたよ！



## 地域ニューリーダー育成研修会 に参加して

H30.10.12~14 熱海の森という施設で地域ニューリーダー育成研修会に参加しました。過去4年行われた研修会のレベルアップというものです。

今回は、合宿形式ということで、他県の技師会の方々と4人部屋。畳に布団を敷いて並んで寝ました。講義は朝8時半~夜10時半を過ぎるまで。そのあと、急いで温泉に入り、部屋に集まり雑談会。実に、合宿でした。



現在の検査技師のおかれている立場、今後の進むべき道。そのために必要なスキル。その様な内容を踏まえ、「10年後 日臨技のあるべき姿へ向けてのロードマップ」をグループディスカッションし、発表しました。

これが、なかなか面白くなるためになる研修会なのです。この年になって合宿もそうそうありませんし、他県の技師会の方とこんなに長く一緒にいることもありません。3日前、同じ空間で過ごしていたので、帰るときは寂しい気持ちになりました。

このような研修会に参加させていただき、感謝申し上げますとともに、今後このスキルを活用していきます。岐臨技でも、ニューリーダー育成研修会を年に一度実施しています。なかなか聞くとこのできない話に得るものがあると思います。ぜひ一度、参加してみてください。

(一財)ききょうの丘健診プラザ 柴 千春





## 生物化学分析部門研修会

### Reversed-CPC (検査値から病態を推測する)

2018年7月1日 岐阜大学病院

通常業務では生化学は担当者不在時のヘルプで入る程度ですので、反応タイムコースの意味などしっかりと理解できていない部分が多くありました。

今回の研修で、タイムコースの見方や異常反応を疑うパターンなど基礎的な部分を知る事ができてとても勉強になりました。

中濃厚生病院 八木 翔



## 「平成30年度認知症対応力向上講習会 B」

平成30年7月29日(日) 9:00~18:30澤田病院にて、認知症対応力向上講習会 B を開催しました。岐阜県、他県を含め 10 名の参加がありました。

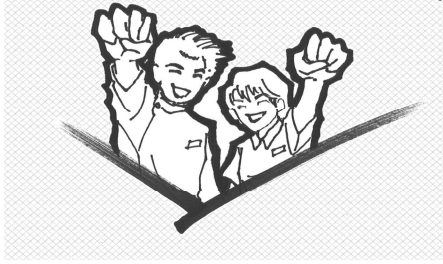
認知症の神経心理検査であるMMSE・HDS-R・物忘れプログラム検査、ADAS・TDAS検査、その他高齢者簡易スクリーニング検査について、ビデオ視聴及び講義・実習を行いました。

認知症に関心のある方が受講されているので、実技の講義を受けての実習は積極的に参加されていました。今回講習会を受けた方は、是非認定認知症領域検査技師の資格を取得していただきたい。超高齢社会の今、認知症を知り理解することは、医療の中で働く臨床検査技師にとって認知症への対応は必須になって来ていると思います。



特定医療法人 生仁会 須田病院  
認定認知症領域検査技師 佐々木昭光

# Rookie Clinical technologist



「働いて感じたこと」

一般財団法人 ききょうの丘健診プラザ

加藤 真緒

私は元々健診機関で働きたかったため、毎日やりがいを感じて働くことができています。私は外の健診がメインで主に尿検査、心電図を担当しています。1日で数箇所行くことも多く、健診時間が決まっているので、その時間内に終わるよう迅速かつ丁寧に検査をすることを意識しています。その為にどのように伝えたら受診者様にわかりやすく伝わるのか、自分がどのように動いたら効率的に検査できるのかを日々考えて実践しています。

私が特にやりがいを実感したのは、実際に心電図をとっている時に前回の健診では発症していなかった症状が発見できたときに早期発見・早期治療に貢献していることを実感しました。

仕事に慣れるまでは毎日大変でしたが、優しく指導してくださる先輩方のおかげで少しずつ臨機応変に働けるようになってきました。覚えることもまだまだあるのでこれからも精進していきたいです。

# Rookie Clinical technologist



働いて感じたこと

一般財団法人 ききょうの丘健診プラザ

荒屋茉莉

臨床検査技師として働き始めて約8か月が経ちました。働き始めのころは分からないことばかりで、仕事を覚えることに精一杯でした。しかし、徐々にできることが増えてきたことでやりがいを感じるようになり、健康診断を受診される方々と接することが楽しくなりました。受診者様と直接顔を合わせて検査するため、身だしなみや言葉遣いを正し、安心して検査を受けていただけるように気を付けて働いていきたいです。また、実際に現場で検査することにより大学で得た知識をより深く理解することができました。まだまだ覚えることはたくさんありますが、より質の高い検査を提供するために一層勉学に励み、疾患の早期発見に努めていきたいと思っています。



木沢記念病院は、1913年に診療所の「回生院」を開設し、1952年「木沢病院」となり、100年以上の歴史を経て、現在の社会医療法人厚生会 木沢記念病院（病床数 452 床）に至っています。その中で、現在検査技術部として、血液・凝固検査、生化学検査、免疫検査、尿・一般検査、輸血検査、生理検査、病理・細胞診検査、遺伝子検査、外来採血を日常業務として、臨床検査技師 30 名（パート 1 名）、事務 1 名（検査受付）で行っています。

臨床検査技師正職員スタッフの年齢構成としては、60 歳代 1 名、50 歳代 3 名、40 歳代 4 名、30 歳代 6 名、20 歳代 15 名で、若い技師が多く、バランス的に少し悪い状態ではありますが、若い力が 120% 発揮できれば、将来の検査室に大きな希望が持てる事になります。その為にも、技師のモチベーションを上げるような環境作りが重要になって来ると思います。

一方、現在の検査技術部には、大きな業務が 3 つあります。

一つ目は、2018 年 12 月から臨床科学研究センターを開設する事です。臨床検査技師が DNA を抽出し次世代シーケンサーによる網羅的遺伝子検査を行います。そのため、業務開始までに、バリデーションや CAP サーベイを受け、検査精度の確認を行っています。

二つ目は、ISO 15189 取得のため 2018 年 8 月にキックオフをし、現在検査技術部全員で多くの書類作りに励んでいる所です。また、狭い検査室ということもあり、整理整頓にも力を入れ、要求事項に適応するために改善を行っています。順調に行けば、2020 年 2 月に認定取得の予定ですので、全員で盛り上げて認定取得を目指して頑張っていきたいと考えています。

三つ目は、3 年後の新病院移転についての事です。そのため検査室の設計、レイアウト、検査機器の選定が必要になり、各部門で案を出し合って検討をしています。また、現在細菌検査を外注で行っていますが、新病院では院内化を行いますので、それに対応する技師をどうするかが大きな課題となっています。いずれにしても、この 3 つの業務を成し遂げる事は大変だと思いますが、これらが達成できれば、患者さんにとってメリットあり、病院の基本理念である「病める人の立場に立った医療、地域から求められる新しい医療サービスの提供」にも繋がると思いますので検査技術部全員で力を合わせて取り組んでいきます。また、今後も患者さん、医療スタッフに信頼される検査技術部になるように努力していきます。

藤井 泰三





# 第 58 回中部圏医学検査学会 (岐阜) 進捗について

## 実行委員会

先日三重県で行われました第 57 回大会の視察に参加しました。実行委員で手分けし、会場、プログラム進行、また懇親会などの運営について勉強させていただきました。三重県臨床検査技師会会長はじめ実行委員の先生方からも直接お話を伺うこともでき、有意義な視察になりました。視察結果も含め 12 月 19 日 (火) 第 4 回実行委員会を開催する予定です。

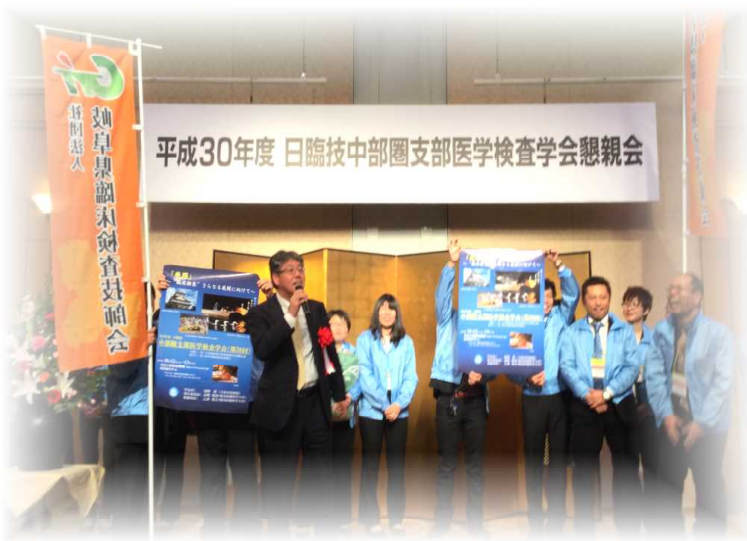
「飛躍」  
～ “臨床検査” さらなる展開に向けて～

平成31年度 日臨技  
**中部圏支部医学検査学会 (第58回)**

主催：一般社団法人 日本臨床検査技師会中部圏支部  
担当：公益社団法人 岐阜県臨床検査技師会

平成31年 10月12日(土)・13日(日)  
長良川国際会議場 <http://www.g-icc.jp/>  
岐阜都ホテル  
〒502-0817 岐阜市長良橋元2095-2  
TEL: 058-296-1200 FAX: 058-296-4210

学会長： 浅野 敦(大垣市民病院)  
実行委員長： 高崎 昭彦(岐阜医療科学大学)  
事務局長： 乙訓 貴之(岐阜医療科学大学)



現在第 58 回大会ホームページ開設に着手しており、次号(59号、1/20発行予定)にてURL等の詳細を報告させていただきます。ご提案、御意見等ございましたらお近くの実行委員までお願い致します。

2018年も残りわずか、皆様にとってどのような1年でしたか。  
岐臨技は、役員が様変わりし、各事業に追われてあっという間の1年でした。  
今年の新語・流行語大賞は、『そだね～』の掛け声になりましたね。  
独特のイントネーションで心とお掛け声です。女子カーリングチームがこの掛け声で  
チーム一丸となり、平昌オリンピックで銅メダルを獲得したこと、  
まだ記憶に新しいですね。  
岐臨技も『そやね～』と声を掛け合い、チーム岐阜として、  
来る日臨技中部圏支部学会開催を成功させましょう。  
今年一年お世話になりました。皆様、良いお年をお迎えください!!

会長 浅野 敦